

## 冬枯れの山村風景を楽しむ 関八州見晴台

実施日 2013年2月17日(日)  
 天候 晴れ  
 リーダー 鈴木 政三  
 参加者 一柳昭、涌井良明、島本陳重、  
 鈴木政三、渋谷賢寿、遠井謙  
 策、伊藤久雄、石原勝正、宇  
 野輝代、小名秀鋭、石附智子、  
 佐藤政司、林みつ江 計13名  
 費用 電車1,220円(池袋起算)  
 タイム 西吾野駅(9:02・9:20)萩の平登  
 山口(9:20・9:55)萩の平小屋(1  
 0:00～10:35)高山不動(10:45・  
 11:15)関八州見晴台(11:45～1  
 2:45)渡戸橋(12:45・13:25)あじ  
 さい館(車14:25・14:30)吾野駅

駅から橋を渡り右に北川沿いの車道を行く。パノラマコースを右に分け、萩の平コースの道標がある橋を渡り住宅地の最上部より登山道に入る。



杉、檜林の尾根道の登りが暫く続き、萩の平茶屋(無人)を過ぎると平坦な道となる。暫く行くと右からパノラマ

コースが合流、傍らに小さな石仏が佇む。だんだんと登りになり不動三滝方面(高畑集落)からの道に合流する。

右に山腹を行くと高山不動堂の石段の下の方に出る。樹齢千年以上と言われる大イチョウ(乳房状の気根があり子育てイチョウとも)



を見て急な石段を登り不動明王に祈願。

不動堂の裏手を登り茶店(閉店中)が並ぶ車道を横断し桜とツツジ(春の花時期



も良いかも)の尾根道を登る。一旦車道に出て右手の山道に入ると奥の院が祀られた関八州見晴台に着く。

ここからの展望は名前の通り素晴らしく、澄み渡った青空のもと近くの山々はもちろん、富士山、スカイツリーまできれいに望めた。



下山は往路を戻り茶店分岐の車道を左に下り不動堂の駐車場先から八徳、吾野の道標を見て左の登山道に入る。



虚空蔵山を巻いて行くと八徳、志田分岐に出る、右の志田へ尾根を下る。瀬尾への分岐を左に分け更に下と沢沿いの道になり、明るく開けた志田集落に出る。

車道を横切り渡戸橋を渡り、時の流れに取り残された山村風景を眺めながら山腹道を行き大窪集落に出る。

車道を横断し目の前の民家の庭先から大窪峠への道に入る。きれいな竹林の中を登り、小さな切通しの峠を越えると眼下にあじさい館が望める。あじさい館は日帰り入浴、宿泊も出来、駅までの送迎もしてくれる。



雪がなくアイゼンの持ち腐れで物足りない人もいたと思いますが、快晴で展望に恵まれたので良として下さい。

(記・鈴木 政三)

(写真提供・涌井良明/伊藤久雄)